

2月 校長講話より(2/4)

2月の校長講話は、節分についてお話をします。



みなさんは、今年の節分がいつだったか知っていますか？ 2月2日でしたね。節分とは「季節を分ける」という意味なので、昔は「2月の立春・5月の立夏・8月の立秋・11月の立冬」の前日を、すべて「節分」と呼んでいました。つまり、1年に4回も節分があったということです。そして、これらの季節の節目には「邪気」が入ってくると信じられていました。豆まきは、それらの見えない悪いものを鬼に見立てて、それを追い払うために行われるようになった風習だと言われています。

ここで、突然クイズです。4つの中から1つを選んで手を挙げてくださいね。

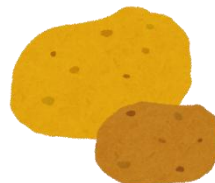
では、第1問。北海道や東北地方では、節分で豆(大豆)の代わりにあるものを投げます。それは何でしょうか？



①炭



②落花生(ピーナッツ)



③じゃがいも



④雪の玉

正解は、②の「落花生(ピーナッツ)」です。雪の多い地域では、雪の中に撒いた豆を拾うのは落花生の方が楽で、あとで食べることを考えると殻に入った豆の方が衛生的である等の理由から、落花生を投げるようになったそうです。節分で鬼に投げるものは、地域によって違うんですね。1月に話したお雑煮と同じで、自分では当たり前だと思っていることが、実は当たり前ではないという例が、他にもたくさんありそうです。

続いて、第2問。 節分にまいた豆は、どれくらい食べるのと言われていたのでしょうか？



①自分の年より1個少ない数を食べる

②自分の年と同じ数を食べる

③自分の年より1個多い数を食べる

④数は気にせず好きなだけ食べる

正解は、③の「自分の年より1個多い数を食べる」です。数え年の分だけ食べると言われているので、自分の年齢プラス1個を食べることになります。

では、最終第3問。 節分の鬼といえば赤鬼のイメージが強いですが、実は節分の鬼の色は5色あります。

「赤鬼」「青鬼」に「黄鬼」「緑鬼」、後1つは何色の鬼でしょうか？

①ピンク鬼

②紫鬼

③オレンジ鬼

④黒鬼

正解は、④の黒鬼です。仏教では、修行の邪魔をする5つの煩惱(人間なら誰もが持っているマイナスの感情のこと)を「5つの鬼」に例えて色分けしました。それぞれの色の鬼は、次のような性格だそうです。



赤鬼は、欲深くて何でも欲しがる「**欲しがり鬼**」です。人間のすべての悪い心を表していると言われることもあります。赤鬼が一番有名なのは、この欲望があらゆる邪気の象徴であるためです。

青鬼は、悪口や嫌なことばかり言って、いつも怒っている「**怒りんぼ鬼**」です。

黄鬼(白の場合もあるそうです)は、自己中心的で自分勝手にわがままな「**わがまま鬼**」です。

緑鬼は、やるきが出ない、だらだらするという怠け者の「**なまけ鬼**」です。

最後の**黒鬼**は、人を疑ったり、愚痴をこぼしたりする「**人のせい鬼**」です。

お正月には、「今年は〇〇をしよう!」という1年の目標を立て、やる気を新たにした人が多いと思います。しかし、1か月が過ぎ、その心が少し弱くなっていると感じている人は、もしかすると緑の「なまけ鬼」が心の中に入ってきたのかもしれない。

「心の中にいる鬼」は、豆や落花生で外に追い払うことはできません。また、外から来る鬼よりも、「心の中にいる鬼」を退治の方が大変そうです。しかも、この5つの色分けされた鬼は、誰の心にも棲んでいるらしいのです。今は自分に「心の鬼」はいないよと言う人も、もしかしたら何かのきっかけで「心の鬼」が出てくるかもしれません。そんなときは、「心の鬼」を追い出そうという強い気持ちをもって、「心の鬼」を退治してほしいと思います。

3学期の残りの登校日数は、今日を入れて29日間しかありません。3学期の始業式で話したように、「仲間と共にまなびあい」「お互いの良さをわかりあい」「ありがとうが飛び交う更級小学校」をめざしてがんばっていけば、「心の中にいる鬼」をきっと退治することができます。

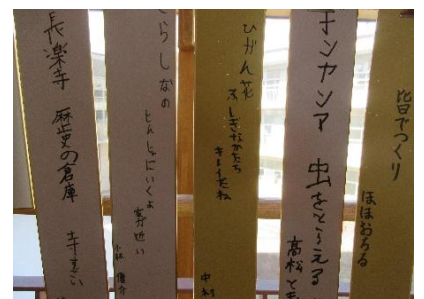
残りの29日間で、それぞれの学年ごといいい1年間のまとめをして、4月からの新しい学年に備えていきましょう。これで校長先生の話が終わります。

俳句祭りがありました(2/7~2/28)

2/7(金)から2/28(金)まで「俳句まつり」が行われました。

主に、国語の学習で作ってきた作品の中から、自分で展示したい作品を選択して短冊に書きました。作品作りでは、情景を思い浮かべるために自分でスケッチをもとに作品作りに取り組む工夫をしてきました。

その成果として、自分なりの思い入れ溢れる「俳句まつり」の作品となり、全ての学年の作品を2階空中廊下に展示しました。俳句まつりが終わりましたら作品を持ち帰りますので、子どもたちの力作をぜひご覧ください。



※来週はいよいよ3月に入り、卒業式まであとわずかとなりました。卒業や進級を控えるこの時期は、子どもたちにとって自分が成長する嬉しさを感じる反面、親しい仲間との別れや、4月から始まる新しい生活に対する不安から、気持ちが不安定になる時期でもあります。お子さんの様子を見て、いつもと違う何かのサインを見つけたら、遠慮なく担任(学校)にご相談ください。

※別紙で「令和7年度 学校自己評価アンケートまとめ」をお配りしましたのでご覧ください。いただいたご意見・評価は、次年度の学校運営計画に反映していきます。アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。